

熊本地震支援活動 シェアリングネイチャーカフェこびる 活動報告

2016年4月の熊本地震発生から2年が過ぎました。全国のみなさまには応援のお気持ちをたくさんお寄せいただき、本当にありがとうございます。

2年が過ぎても仮設から先の見通しが立たない方々が多い状況があります。熊本県シェアリングネイチャー協会は「シェアリングネイチャーカフェこびる」でお茶の時間を提供し、長い生活再建、地域再生の道を歩まれる方々に、全国からの応援を届け、経験を共有する、小さくても息の長い活動をしていきたいと願っております。

今後ともご協力いただければ幸いです。よろしく願いいたします。

【これまでの開催状況】

- 第1回 2016年6月25日 宇城市豊野少年自然の家 避難所 約10人
- 第2回 7月2日 西原村河原小学校 無料食器市と避難所内で 約60人
- 第3回 9月11日 甲佐町白旗仮設団地 延べ50人
- 第4回 10月16日 熊本城監物台樹木園内みどりの交流館 26人
- 第5回 11月13日 宇土市高柳仮設団地 約15人
- 第6回 12月11日 御船町高木仮設団地 約15人
- 第7回 2017年1月12日 嘉島町宮地元さん宅 20人
- 第8回 2月12日 甲佐町白旗仮設団地 延べ50人
- 第9回 3月12日 御船町高木仮設団地 約20人
- 第10回 4月9日 甲佐町白旗仮設団地 延べ50人
- 第11回 5月28日 熊本県SN協会総会 会員13人
- 第12回 6月18日 熊本城監物台樹木園内みどりの交流館 16人
- 第13回 7月28日 甲佐町 白旗仮設団地 約30人
- 第14回 9月10日 甲佐町 乙女仮設団地 延べ60人
- 第15回 10月15日 熊本城監物台樹木園内みどりの交流館 24人
- 第16回 11月12日 御船町 西往還仮設団地 延べ約20人
- 第17回 12月6日 御船町 SHARE STORE みんなのふね 延べ約20人
- 第18回 2018年1月21日 御船町 街なかギャラリー 20人
- 第19回 2月11日 八代市 山暮らしカフェ 15人
- 第20回 3月11日 甲佐町 Baby + Cafe トキノネ 15人
- 第21回 5月12日 甲佐町 白旗仮設団地 約20人

(参加者合計 約569人)



来年のカレンダーを手に話が弾む



〈ディスカバーウォーク〉を終えて



笑い声が絶えない〈ノーズ〉



絵本の読み聞かせも



シェアストアでのこびる



お寄せいただいたお菓子

【活動内容】

- ・全国各地からのお菓子やあたたかいメッセージは、地震から時間が経っても「あなたを忘れていませんよ」と心を寄せる人々が全国にいるということを伝え、被災者を力づけています。
- ・お茶を飲みながらお話ししたり、おむすびを一緒につくることで、一人暮らしの高齢者も顔を出したり、住民同士の会話が弾み、コミュニケーションづくりのきっかけにもなっています。
- ・小さなお子さんを抱えたお母さんたちが、地震の後に続く落ち着かない気持ちを話せる場にもなっています。
- ・御船町では、地震直後にお手伝いに行った活版印刷所とのご縁から地域おこし協力隊とつながり、地元の方々とよそから来た方々が一緒に〈ディスカバーウォーク〉でまちを歩き、昔のにぎわいや自然の豊かさ、地震で歯が抜けるように隙間がうまれた街並みを感じるイベントをおこなうことができました。「またぜひやりたい」という声が地元からあがっています。
- ・こびる開催毎に各種メーリングで報告をおこない、被災地の状況についても発信しています。

【これからの活動】

時間が経っても、これからの暮らしに不安を抱えているという状況はあまり変わっていません。人が寄り添いあえる心の拠り所としての「こびる」がまだ求められていると感じています。仮設団地の他に、みなし仮設にお住まいの方々などにも届くような設定を考え、これからもほっと一息つける「お茶のじかん」をわかちあう活動を続けていきたいと思ひます。

熊本県シェアリングネイチャー協会 事務局

〒867-0034 熊本県水俣市袋 8-19-4

TEL 070-4710-5600

E-mail ori@minamata-nature.com